



平成 28 年 8 月 10 日

各 位

会 社 名 大東紡織株式会社
代表者名 取締役社長 山内 一裕
(コード：3202、東証・名証各第1部)
問 合 せ 先 取締役執行役員 三枝 章吾
経営管理本部長
(TEL 03-3665-7816)

平成 29 年 3 月期第 2 四半期(累計)および通期の連結業績予想の修正ならびに 営業外収益の計上に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 28 年 5 月 13 日付で公表した平成 29 年 3 月期の第 2 四半期(累計)および通期の連結業績予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

また、平成 29 年 3 月期第 1 四半期連結累計期間(平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日)において営業外収益を計上いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 29 年 3 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値の修正 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,340	百万円 100	百万円 △50	百万円 △80	円 銭 △2.67
今回修正予想 (B)	2,240	150	40	20	0.67
増減額 (B-A)	△100	50	90	100	
増減率 (%)	△4.3	50.0	—	—	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	2,809	208	126	172	5.77

(2) 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,000	百万円 350	百万円 140	百万円 90	円 銭 3.01
今回修正予想 (B)	4,700	350	180	140	4.68
増減額 (B-A)	△300	—	40	50	
増減率 (%)	△6.0	—	28.6	55.6	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	5,407	378	74	124	4.17

(3) 差異の理由

(連結)

売上高につきましては、ヘルスケア事業で昨年好調であった温熱電位治療器などの高額品が予想に比べて伸び悩むなどしており、今後とも個人消費の盛り上がりを欠いた展開が続く場合に備え、前回予想に比べ、第2四半期(累計)業績予想において100百万円減少、通期業績予想において300百万円減少の修正予想とします。

営業利益につきましては、商業施設事業が順調に推移していることおよびシンジケートローン実施に係る諸費用が予想よりも圧縮できたことなどにより、前回予想に比べ、第2四半期(累計)業績予想におきまして50百万円の増加を見込みます。ただし、通期業績予想におきましては、売上高減少に伴う粗利益の減少や経費増が見込まれるため、前回予想を据え置きます。

経常利益につきましては、特別清算した紳士服販売子会社に対する還付消費税等の営業外収益を当第1四半期に計上したことに伴い、前回予想に比べ、第2四半期(累計)業績予想におきまして90百万円の増加を見込み、通期業績予想におきましては売上高減少の影響などを勘案し40百万円の増加を見込みます。

親会社株主に帰属する当期純利益におきましては、当第1四半期において中国関連の出資金売却益や既存借入金の中途解約損失発生に伴う特別損益が改善したことなどにより、前回予想に比べ、第2四半期(累計)業績予想におきまして100百万円の増加を見込み、通期業績予想におきましては、売上高減少の影響などを勘案し50百万円の増加を見込みます。

なお、この結果、通期業績予想の前期比較において、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益の各段階で前期比増益となる見込みです。

(注) 上記予想は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 営業外収益の計上

(1) 営業外収益の内容

平成29年3月期第1四半期連結累計期間(平成28年4月1日～平成28年6月30日)において、特別清算した紳士服販売子会社に対する還付消費税等48百万円を営業外収益に計上いたしました。

(2) 業績に与える影響

営業外収益の計上による業績への影響につきましては、上記「1. 業績予想の修正について」に織り込み済みです。

以上